

事務事業名		38920 中学校図書館司書配置事業	予算科目	会計 一般	款 10	項 3	目 2	所管課	学校教育課	担当班	指導班	
施策体系	基本施策	11 学校教育の充実	根拠法令	改正学校図書館法(H26.6.27)ほか				事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	施策の展開	21 教育支援体制の充実	戦略事業	114 学校図書館司書配置事業								
	施策の展開		戦略事業									

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 25 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	●「学校図書館司書の配置」→学校教育の教育内容の充実を目的に、学校図書館司書を各中学校に配置する。学校図書館の環境を整え、市内中学校生徒が図書に触れ合う機会を充実させる。 ●平成27年度からは毎週1日各校に司書が巡回。 【学校図書館司書の主な業務】学校図書館の環境整備(掲示物の作成、季節に合わせた書籍コーナーの設置、図書室への関心を高める仕組み[図書室外含む]、図書便りの作成等)、蔵書管理、新書購入時の助言、図書廃棄時の助言、生徒に対する図書貸し借り業務、授業の中で扱う書籍の収集、準備(市立図書館との連絡・調整含む)、生徒に対する本のアドバイス・レファレンス、読み聞かせ、ブックトーク(教冊の本を同時紹介)	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
国では、平成24年度から学校司書の配置が進むよう、単年度約150億円の地方財政措置(1週当たり30時間の職員をおおむね2校に1人配置することが可能な規模の措置)をとった。それをきっかけに、旭市でも平成24年度に募集をし、平成25年度から1人体制で開始した。	平成26年6月27日に、学校図書館の職務に専ら従事する職員を「学校司書」と位置付けて各学校に配置するよう求めた「学校図書館法の一部を改正する法律」が公布され、平成27年4月1日から施行された。これにより、「学校司書」が初めて法令に位置付けられた。	生徒から「図書館司書さんと本のことを相談できてよかった。もっと学校に来てほしい。」という意見があった。教職員からは、学校図書館司書配置について、「効果がある。」という意見があった(100%)。また「巡回日数を増やしてほしい。巡回日(曜日)を固定化してほしい。」といった要望があった。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算) 単位:千円		事業費							
1. 労災保険料	359	学校図書館司書1名分	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	
2. 臨時雇賃金	2,192	学校図書館司書1名分の賃金	千円	0	335	366	359	392	
3. 普通旅費	2	千葉県教委主催の研修への参加	千円	2,153	1,365	1,365	2,192	2,350	
4. 消耗品費	0	USBメモリ等	千円	0	0	2	2	3	
	0		千円	0	0	0	0	5	
② 特定財源の内訳(27年度の決算) 単位:千円		事業費計(A)		千円	0	2,488	1,733	2,553	2,750
1. 国庫支出金	0	1. 国庫支出金	千円						
2. 都道府県支出金	0	2. 都道府県支出金	千円						
3. 地方債	0	3. 地方債	千円						
4. その他	0	4. その他	千円						
		5. 一般財源	千円	0	2,488	1,733	2,553	2,750	

前年度増減理由	図書館司書の学校への巡回回数が増えたため。
---------	-----------------------

従事職員数	常時 1人	最大 2人	× 12日 = 延べ 24人
-------	-------	-------	----------------

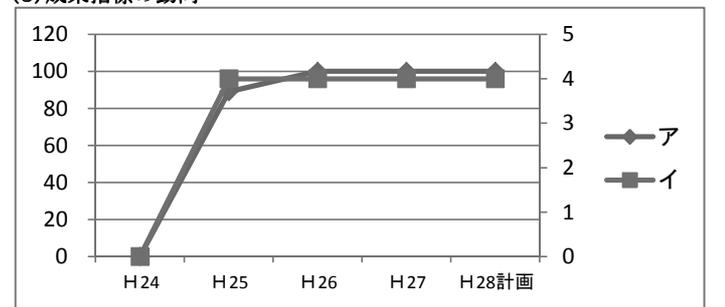
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動)		ア 学校図書館司書一人の担当校数	校	—	4	4	5	5
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	イ 1校当たりの年間巡回回数	日	—	45	27	39	39
	学校図書館司書を1名採用し、市内中学校5校を巡回。学校図書館の環境整備と生徒の読書指導を実施。配置に対する年2回のアンケート調査を実施。		④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
目的	対象 ・学校図書館施設、図書 ・市内中学校生徒 意図 ・学校図書館施設が利用しやすくなる。中学生の心身の発達に合わせたコーナー(思春期特有の悩み等)を作成することで、生徒が積極的に来館する環境に近づく。	⇒	ア 年度末アンケート調査での肯定的評価の割合(%)	%	—	89.0	100.0	100.0	100.0
	対象 ・学校図書館施設、図書 ・市内中学校生徒 意図 ・「図書便り」を発行して広報活動をしたり、図書賞賛と協力して作業を行ったりすることで、学校図書館司書と生徒の本を介した交流が生まれ、市内中学校生徒等が、読書の楽しさや大切さを理解する。		イ 学校図書館司書が作成する「図書便り」の1校当たりの発行枚数(年間)	枚	—	4	4	4	4

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	評価結果	
	普通	ある程度ある		
	小さい	ほとんどない		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
		①	②	③
		④⑤	(2)	⑥
		⑦⑧		⑨

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難	
【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)		
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ	成果指標のタイプ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)		
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期 ①28年4～5月 ②29年3月(8月除く)まで	内容 ①栄養教諭と連携し、「ものがたり給食」(給本や物語に出てくる料理を毎月1回給食のメニューに取り上げる。)を実施するために選書をし、年間計画を作成する。 ②選書した本の読み聞かせを行う。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()	平成29年～随時 国の示す目安では、学校図書館に関する業務に従事する職員(1週当たり30時間相当)をおおむね2校に1人配置するという数値がある。(学校図書館整備5か年計画)旭市の現在の体制は、5校に1人配置なので、それに近づいていくために、学校図書館司書としての雇用者数を増加していく必要がある。